



# じりっ「自律と自立」

指 宿 高 等 学 校  
進路指導部 第 2 号  
発行日 R 6 . 5 . 1 0 (金)

## 一人ひとりの進路目標実現をめざして

### 「 自主・好学・向上 」

「進路目標実現」のために、進路指導部では毎年、校訓の「自主・好学・向上」を基に基本方針と目標を設定し、年間計画を立てています。

各学年においては、以下の重点目標を掲げています。

- 1 学年——基本的生活と学習習慣の定着
- 2 学年——進路目標設定と学習習慣の確立
- 3 学年——進路実現に向けた自学自習の確立

1 年生は、指宿高校生としての生活習慣を確立し、中学の学習スタイルから脱却し、高校の学習スタイルに慣れ、日々実行するように努力しましょう。

2 年生は、文理に応じた学習習慣を早期に構築し、学部学科研究等を通じて進路目標を設定し、夢実現に向けて計画を立て、実行する努力をしましょう。

3 年生は、受験生としての学習方法を再考すると同時に、進路実現に向けて最大限の努力をし、強い意志をもって学習に取り組みましょう。

勉強や進路のことなどで迷うことの多い高校時代。わからないことや相談したいことがあったら、遠慮せずに担任や教科の先生、進路指導室を訪ねてください。

## 1 学期中間考査 迫る

5 月 14 日 (火) から 4 日間、1 学期中間考査が行われます。新学期が始まってから、ここまでの学力の定着を見る大切なテストです。特に、3 年生にとっては、以下にあげる理由で重要なテストになります。

### 仮評定、評定平均値とは？

『評定平均値』とは、「高校 1 年生から高校 3 年生で出願する間に履修していた全科目の評定（5 段階）を平均したもの」つまり、1 年次から 3 年次のすべての科目の評定の合計（和）を科目数で割った値（小数点第 2 位を四捨五入）のことです。「評定」は、定期考査の成績や授業、課題の取り組みなどをもとに 5 段階で総合的に評価したもので、3 学期の通知表に記載されています。現役生の場合、3 年次の評定は 1 学期末に出される『仮評定』が使用され、これが出願時に提出する「調査書」に記載されます。この調査書は、一般選抜を含むすべての受験

に必要な書類です。1 学期中間考査は、その仮評定を算出するための重要なテストになるというわけです。

また、評定平均値は右の表のように A～E の 5 段階で成績概評として示されます。『総合型選抜』や『学校推薦型選抜』では、出願条件として、成績概評 A 以上を求める大学も少なくありません。学校

A	4.3 ～ 5.0
B	3.5 ～ 4.2
C	2.7 ～ 3.4
D	1.9 ～ 2.6
E	～ 1.8

長が特に優れていると認めた場合は④ をつけることができますが、その ④ を条件とする大学もあります。評定は上記の通り、定期考査の成績や授業、課題の取り組みなどがもとになります。言わば「毎日の積み重ね」の証です。適当にやってもよい課題、気を抜いてもよいテストなんて一つもないんだということを心に留めて、毎日の学習に励み、1 回 1 回の考査を大事にしましょう。こうしてみると、改めて、1 学期中間考査の大切さがわかってくるはずです。

### 総合型選抜、学校推薦型選抜とは？

受験には、次のような選抜方法があります。

#### (1) 総合型選抜

- ① 学校長の推薦は基本的に不要。
- ② 受験生の意欲や入学後の目標を重視。
- ③ 書類審査、面接、小論文、プレゼンテーション等、受験先によってさまざまな形態がとられる

#### (2) 学校推薦型選抜

- ① 学校長の推薦が必要。「公募制」と「指定校制」に分かれる。
- ② 高校での実績や取り組みを重視。評定平均値や課外活動実績を出願条件とするケースが多い。
- ③ 小論文や面接が主。大学の場合、共通テストを課すこともある。

#### (3) 一般選抜

- ① 学力検査の得点がほぼ可否を決める。
- ② 入試の日程として、上記 2 つよりも後になる。学力をつけるのは時間がかかるからです。

5 教科以外の特別な活動を評価してもらいたい人のために(1)や(2)があります。しかし、自分の学力に早々見切りをつけて、(1)や(2)で何とかしようという考えでは、どれもうまくいきません。うまくいくための最適解は、自主的に、粘り強く学力向上を目指すことです。

## 受験勉強は学力分析と毎日の授業から

3年生にとって、受験勉強の進み具合は気になるものです。受験勉強のスタートに際して必要なのは、「自分の現在の学力を分析し、各教科についてどの程度学力が身につけているか把握する」ことです。学力分析に役立つのが、これまでに受けた模試などの成績個票です。とりわけ3月に受けた「スタディーサポート」の個票は、国語・数学・英語の分析に加え、解説冊子に対策まで例示してあるので短時間で把握が可能です。

学力が把握できたら、まずは1学期の学習目標月計画を立てて勉強を始めましょう。1学期の目標はとにかく「基礎力の養成」です。土台となる基礎力なくしては入試問題に対応できる応用力は身につけません。具体的には、2年生までに学んだことを教科書の例題や節末問題や基礎レベルの問題集で復習していくとよいでしょう。

なお、次の文章は、「THE ROAD TO SUCCESS」に掲載されなかった卒業生の言葉です。参考にしてください。

### 「受験を終えて」 鹿児島大学 医学部 保健学科 I.S.

受験勉強を通して、気付いたことの1つが、常に辛い選択をした方が良いということです。勉強はもちろんのこと、進路決定にしても、自分の手が届くか分からない、あるいは今は届かないけれど、時間をかければ届くかもしれない目標を設定して、より多くの失敗と落胆を繰り返すことで、数週間、数ヶ月のうちに大きく成長できます。実際に私は、苦手科目の化学を、早い段階で二次試験科目に設定し、最大の欠点から武器に換え、自信をもって本番を迎えることができました。

学習方法についても、様々な気付きがありました。まず、効果的でなかったものは、黙読です。通学や空き時間以外の教科書や単語帳の長時間の黙読はあまり定着しないと感じました。実際に問題を解き、訂正の際に音読しながら教科書を開くことで、イメージを固めるようにしないと、すぐに忘れてしまいます。

また、効果的だと感じた方法は、五感を活用することです。例えば、英語では、単語の意味だけでなく、そのイメージ図を思い浮かべたり、発音してみたり、ジェスチャーをしてみたりしながら覚えると、応用力も自然と身につきます。体験に勝る勉強法はないというくらい、私にとっては絶大な効果を誇る方法だと感じました。

最後に、半年後、1年後の自分に不安を抱いている皆さんへ。辛いとき、苦しいとき、友人や先生方が励ましてくれます。先生方の中には、会うたびに声をかけてくださる方もいます。そういった声掛けに素直になって、感謝の気持ちを忘れないでください。自分や周囲の人たちを信じて、まっすぐに突き進めば、皆さんの夢は叶います。※一部省略

### 「諦めず最後まで」 鹿児島大学 教育学部 学校教育教員養成課程 I.K.

私は共通テストでことごとく打ちのめされました。志望大学への合格は絶望的でメンタルはボロボロ、今までの自分を責めることしかできませんでした。私は高校三年間、学校行事、部活、勉強、ほか、些細なことでも全力で取り組んできました。しかし、勉強に関してはもっとできたはずだと後悔しています。受験ではまず、共通テストの点数が合否判定の材料の一つになる学校推薦を受けました。初の試みであるディスカッション対策では先生方や同級生の協力のもと、実践形式での練習を繰り返し行い、知識を補うために読書はもちろん、ニュース、新聞、雑誌などの様々な手段で情報収集も行いました。図書館の先生のサポートのおかげで、たくさんの知識がつき、たくさんの練習を行うことで強い自信につながりました。結果は不合格でしたが、そこから落ち込む暇もなく前期へ向けての対策を始めました。次こそは合格を勝ち取る！という気持ちで赤本での問題演習を繰り返しました。クラスメイトが減った教室のさびしさと緊張感が漂う空気は忘れられません。自分ができることは全てやり尽くし、不安と期待を背負い本番を迎えました。結果はまた不合格。お世話になった先生方、家族に合わせる顔がありませんでした。とても辛く、心が折れてしまいました。私立の合格が決まっていたので、第一志望の国公立は、諦めて、とにかくこの苦しい状況から抜け出したいと思いました。周りの友人も合格が決まり、一人になった教室で後期に向けて勉強している自分が馬鹿らしく思う時もありました。しかし、後期がラストチャンスだと思って、最後までやり切りました。そして遂に、後期で合格することができました。二度の不合格を経たからの合格の喜びは一生忘れられません。たくさんの人の協力のおかげで頑張れました。友人の応援も力になりました。先生方の言葉は、自分にとって魔法のような力を与えてくれました。苦しい時も辛い時も言葉は私を前向きにしてくれました。たくさんの時間を割いて真摯に向き合ってくれて、とても感謝しています。※一部省略